

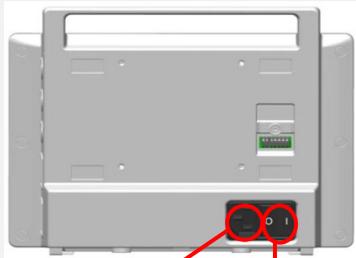
# 循環動態モニタ PulsioFlex (ProAQT) クイックガイド

機器本体PulsioFlexの設定を①～④の順に行います



## ①電源を入れます

【本体背面】



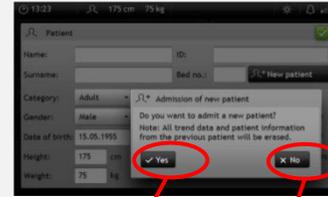
電源ケーブルソケット  
機器本体電源スイッチ

【本体正面】



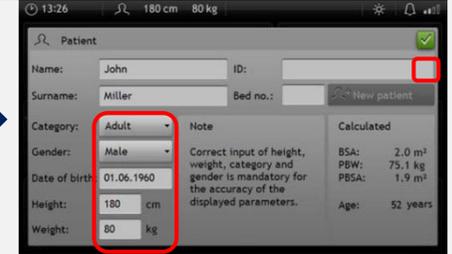
モニター画面  
電源スイッチ

## ②患者情報を入力します



【YES】  
新規患者  
入力の時

【NO】  
同一患者で  
継続して  
使用の時



【入力必須項目】 入力後右上の✓をタッチ  
区分：**成人**  
性別：**男or女**  
生年月日：**日→月→年**の順に入力  
身長(cm)  
体重(kg)

例) 1977年7月13日の場合  
→13.07.1977と入力

## ③圧ラインの0点設定をします



動脈圧波形のフィールドを  
タッチします



Zeroをタッチして  
0点設定をします



ProAQTセンサーの  
三方活栓を  
大気圧に開放します

## ④キャリブレーションをします



CIのフィールドを  
タッチします



ProAQTボタンをタッチします



CIをタッチまたは手入力で値  
を入力します

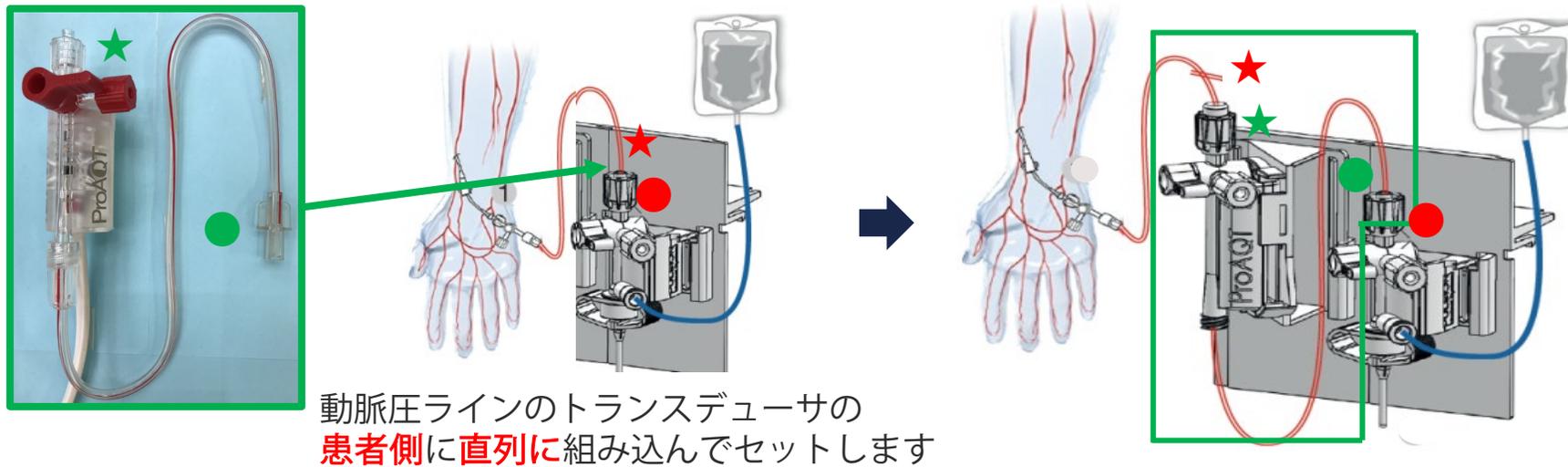


初期値に値が反映したら  
Calibrationをタッチして  
キャリブレーションを行います

# 循環動態モニタ PulsioFlex (ProAQT) クイックガイド

ProAQTセンサーの準備を行います (Aライン新規作成時、作成後の後付けも可能です)

## ProAQTセンサーを動脈圧ラインにセットします



動脈圧ラインのトランスデューサの  
**患者側に直列に**組み込んでセットします

## ProAQTセンサーとアダプタをセットします



【ProAQTセンサー】

【ProAQTアダプタ】

ProAQTセンサーをアダプタに対して  
 斜めにセットします。  
 その後ProAQTセンサーを  
 縦 (赤矢印の向き) に回して設定します

トランスデューサフォルダーに  
 セットします